

昭和二十四年六月一日運輸省特別授承認雜誌第四五三號
大正五年四月六日發行
郵便物認可 昭和二十五年二月二十五日印刷
(毎月一回一日發行)

哲 學 研 究

第 三 十 三 卷 第 十 冊

第 三 百 九 十 一 號

昭 和 二 十 五 年 三 月 一 日 發 行

實 存 と 所 有 …… 文 學 博 士 山 內 得 立

陳 那 教 學 の 課 題 …… 文 學 士 武 邑 尙 邦

危 機 神 學 の 生 成 と
その 展 開 (承 前) …… 文 學 士 樋 元 和 一

— 近 世 前 期 フ ラ ン ス 精 神 史 論 —

京 都 大 學 文 學 部 內 部
京 都 哲 學 會

京都哲學會規則

- 第一條 本會ヲ京都哲學會ト稱ス
- 第二條 本會ハ廣義ニ於ケル哲學ノ研究及其ノ普及ヲ以テ目的トス
- 第三條 本會ハ前條ノ目的ヲ達センガ爲メ左ノ事業ヲ行フ
- 一 毎月一回研究會ヲ開ク
 - 一 毎年公開講演會ヲ開ク
 - 一 毎月一回『哲學研究』ヲ發行ス
- 第四條 本會ノ事務所ヲ京都大學文學部内ニ置ク
- 第五條 本會ノ事業ヲ經營スル爲メニ左ノ役員ヲ置ク
- 一 委員(若干名)京都大學文學部哲學科教官及委員會ニ於テ推薦シタル者ヲ以テ之ニ充ツ
 - 一 書記(一名)委員會ニ於テ囑託ス
- 第六條 本會ノ趣旨ニ賛同スル者ハ何人ニテモ會員タルコトヲ得、學校、圖書館、教育會、其ノ他團體ハ其團體ノ名ヲ以テ入會スルコトヲ得
- 第七條 會員ハ會費トシテ年五百四十圓、前後二期ニ分チテ前納スルコトヲ得
- 第八條 會員ハ本會ノ諸種ノ會合ニ出席スルコトヲ得、且ツ雜誌『哲學研究』ノ配布ヲ受ク
- 第九條 本會規則ノ改正變更ハ委員會ノ決議ニ依ル

京都哲學會役員

委員

文學博士	有賀鐵太郎
文學博士	臼井二尙
文學士	上野照夫
文學士	小田武
文學士	重澤俊郎
文學博士	下程勇吉
文學博士	島芳夫
文學士	園原太郎
文學士	高田三郎
文學士	武内義範
	田中美知太郎
文學士	野田又夫
文學士	松尾義海
文學博士	矢田部達郎
文學博士	山内得立
文學博士	井島勉

寄贈・交換雜誌

國語・國文(十八ノ四・五・六)

一橋論叢(二十二ノ四、二十三ノ一・二・三) 文化(四)

經濟論叢(六十四ノ四・五・六、六十五ノ一)

立命館文學(七三・七四) 史學雜誌(五十八ノ五・六、五十九ノ一)

人文研究(一ノ二) 哲學雜誌(七〇三、七〇四) 文學研究(三十八)

國立國會圖書館收書通報(十一・十二・十三・別冊・十四・十五・十六)

國立國會圖書館國內出版物目錄(七・八)

前 號 目 次

敬養と有用……………文學士 前田 博
「ゲーテの教育思想」

アリストテレス存在論の基礎構造について(承前)……………文學士 岡野 留次郎

歴史哲學の問題(承前)……………文學士 大西 友太

會 告

- 一 本會へ入會希望者ハ京都市左京區田中西浦町弘文堂内京都哲學會係宛ニ規定ノ會費(前表紙裏ニアリ)ニ送料ヲ加算シ御納付ノ上御申込被下度候
- 一 會員ノ轉居入退會等(編集事務以外ノ一切)ノ事務ハ弘文堂内京都哲學會係へ御通知被下度候
- 一 會費ハ「振替口座京都一九五五六番 京都哲學會」宛ニ御拂込被下度候
- 一 前金切レノ場合ハ帶封ニ「前金切」ノ印章捺捺致スベキニ付直ニ御拂込下サレ度候
- 一 本誌ノ編集ニ關スル通信及紹介・新刊書・寄贈雜誌等ハ凡テ本會宛ニ御發送被下度候

京都大學 京都哲學會
文學部内

註 文 規 定

- 一 會員にあらざる購讀者の御注文及び廣告に關する件は「弘文堂」へ御申込下され度候
- 一 本誌の御註文はすべて代金郵税共前金にて御送り下され度候
- 一 特に請求書及び領收書等を要する場合は郵券八圓御送付下され度候

昭和二十五年二月廿五日印刷
昭和二十五年三月一日發行

編 集 人

京 都 哲 學 會
京 都 大 學 文 學 部 内

右 代 表 者

小 田 武

發 行 人

久 保 井 理 津 男
東 京 都 千 代 田 神 田 駿 河 縣 四 ノ 四

印 刷 人

鈴 鹿 幸 保
京 都 市 田 中 西 浦 町 四 〇

印 刷 所

弘 文 堂 印 刷 部
京 都 市 田 中 西 浦 町 四 〇

發 行 所

株 式 會 社

弘 文 堂

東 京 都 千 代 田 神 田 駿 河 縣 四 ノ 四

定 價		冊 數		郵 税	
一 冊	四十五圓	金三圓	六冊(前金)	二百七十圓	金十八圓
主冊(前金)	五百四十圓	金三十六圓			

(誌代の變更による會費の過不足は半年又は一年毎に精算いたします)

アテナ新書

B 6 上製本
送料各二五圓

新刊

- | | | |
|------------|----------------------|-------|
| 現代哲學 | 高坂正顯 | 一八〇圓 |
| 中國の革命思想 | 小島祐馬 | 一三〇圓 |
| カトリシズム | M. ガーシー
譯 岳文堂譯 | 豫一〇〇圓 |
| 近世科學史 | 矢島祐利 | 豫一三〇圓 |
| 既刊 | | |
| ニヒリズム | 西谷啓治 | 一八〇圓 |
| 量子力學的世界像 | 朝永振一郎 | 一三〇圓 |
| ウェーバーとマルクス | カール・レザット
柴田・駒・安藤譯 | 一三〇圓 |
| ドイツ共産黨史 | 猪木正道 | 一四〇圓 |
| セザンヌ以後 | 植田壽藏 | 一五〇圓 |
| サルトルとマルセル | レトロフ・オテニス
安井源治譯 | 一五〇圓 |
| 續刊 | | |
| 哲學概説 | 高山岩男 | |
| 二十世紀の神學 | 北森嘉藏 | |
| 西歐文化の危機 | ロゲンドルフ | |
| 國民經濟と世界經濟 | 松井清 | |

新刊 (百號記念贈書しおり添付)

- | | |
|---------------|------------------|
| 社會科學への道 | 高島善哉 |
| 人間の探求 | 長與善郎 |
| ノーベル賞 | 白井俊明 |
| 共産黨をめぐる人々 | 荒畑寒村 |
| レイテ沖海戦 | 小柳富次 |
| 科學と技術 | 和辻春樹 |
| 自由と獨裁 | ツワイク
高橋順二譯 |
| 藝術とはなにか | 井島勉 |
| ブルンキ主義とマルクス主義 | 對馬忠行 |
| 唯物論入門 | 梅本克己 |
| 新ヒューマニズム | ルネ・グルツセ
宮本正清譯 |
| 既刊 | |
| 日本の政治家 | 山浦貫一 |
| 西田哲學 | 務臺理作 |
| 東京の木賃宿 | 幸徳秋水 |
| 自然辯證法入門 | 原光雄 |
| 人間の哀しみ | 天野貞祐 |
| ニイチエ | 高坂正顯 |

アテナ文庫

B 6 別送六圓
各册 三〇圓

哲學研究 第三百九十一號

柳田謙十郎

マルクス哲學の
基本問題

送三〇圓

篠原正瑛

敗戦の彼岸にあるもの

送一三〇圓

杉正俊

郷愁記

送一五〇圓

高山岩男

マルキシズムの超克

送二〇〇圓

關根正雄

宗教革命の論理

送一七〇圓

下村寅太郎

精神史の一隅

送一七〇圓

長澤信壽譯註

プラトン「國家」

送三〇圓

實太郎

とはなにか

送三〇圓

下村寅太郎

とはなにか

送三〇圓

藤岡由夫

とはなにか

送三〇圓

定價 金四十五圓 (地方賣價四十七圓)